

バスと自転車クルマの共存プロジェクト

～多様な立場を体感できるバスの死角体験プログラム～

バスと自転車の共存プロジェクト 代表 高島亮太 副代表 稲見正博

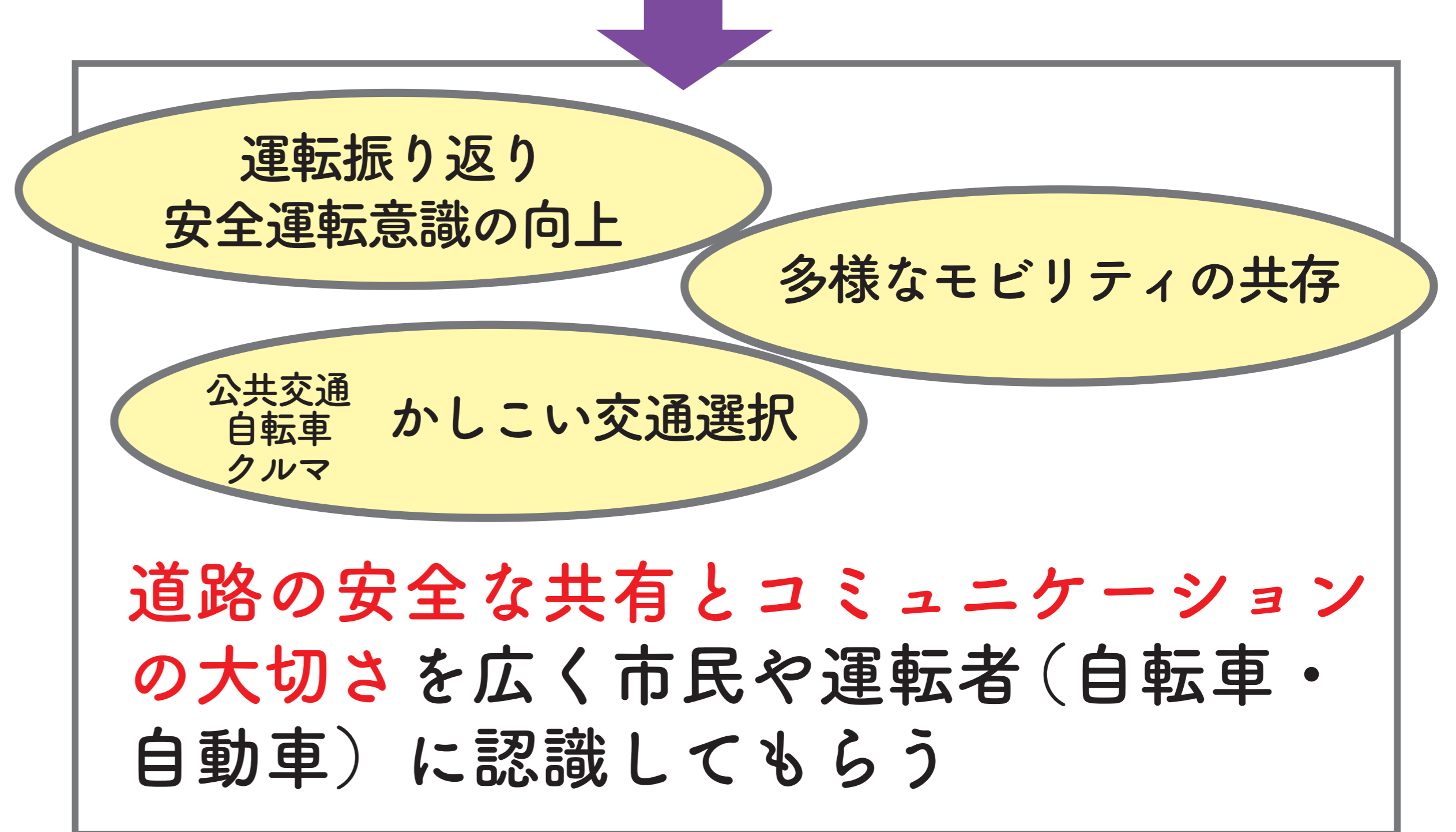
1 背景

自転車通勤、
スポーツ自転車、
走行空間整備...



2 目的

自転車のルール
バスの特性や役割を理解

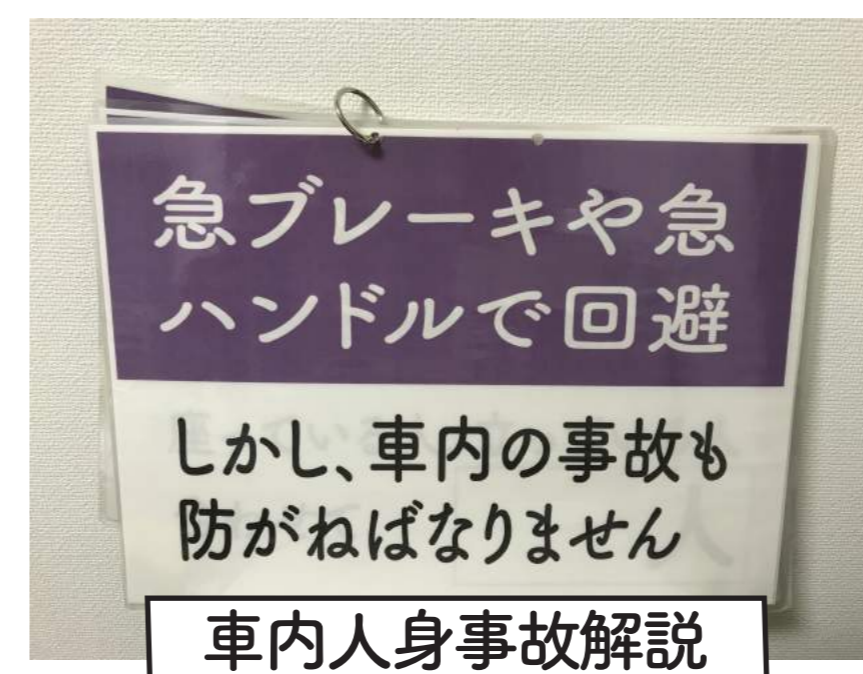


3 内容

本物のバス車両と自転車を配置して死角体験
コミュニケーターはバス運転経験者

1. 多くの乗客を運ぶ 路線バス運転士の視点

- ・運転席から目視とミラーで安全確認しその死角や自転車がどう見えるかを体感
- ・バス特有の交通事故「車内人身事故」を認識



2. バス側方を走行する 自転車の視点

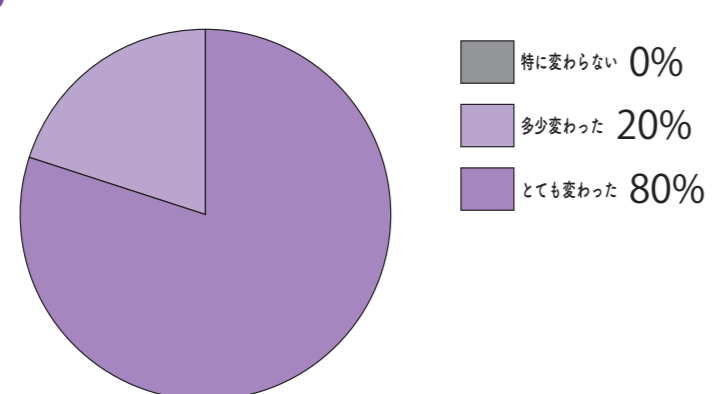
バスからの視点を踏まえ、自転車はどう追い抜く(追い抜かない)べきかなど、安全走行を考える

3. バス運転士が実践している 事故を起こさないための運転技術

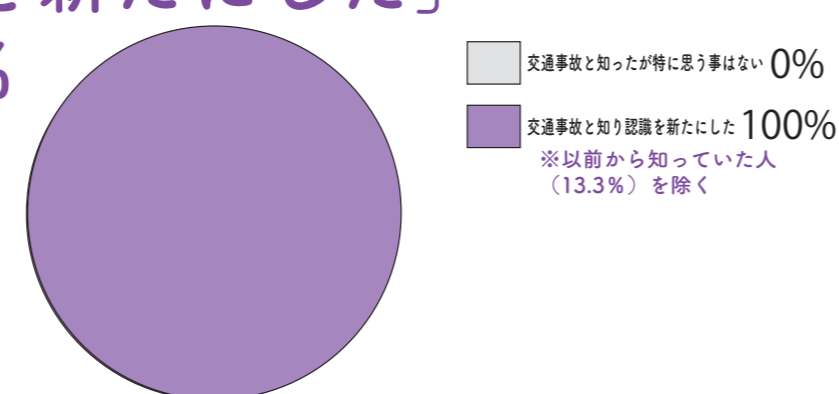
プロドライバーの危険予知・防衛運転のテクニックを日頃の自転車・クルマの運転に活用することをイメージする

4 実績と成果

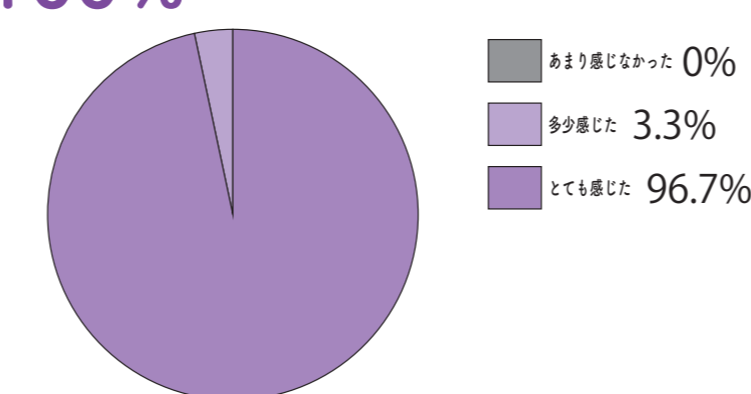
車内外に常に注意確認しながら運転をする
「バス運転士の認識が変わった」
100%



急ブレーキなどでバス乗客が負傷する
「車内人身事故が交通事故と知り
認識を新たにしました」
100%



道路においてバスと自転車の
「共存が重要と感じた」
100%



※ツール・ド・三陸2017体験者アンケートより

「バスの死角が考えていたよりも多かった」「今後車道进行の時やバスに乗る時気をつけたいと思った」など認識を新たに
した感想が多かった

自転車イベント・地域イベント・バスイベントなどで、スポーツバイク乗り、ママチャリなど
様々な自転車利用者に対し 自転車ルール・共存型の安全走行意識の向上 を図れるものとなっている

実施年月	イベント	主催	協力・連携
2016.3	江ノ電バスファミリーフェスタ☆	江ノ島電鉄	江ノ電バス横浜
2016.9	ツール・ド・三陸 2016★	ツール・ド・三陸 2016 実行委員会	グッド・チャリズム宣言プロジェクト、JR 東日本盛岡支社、岩手県交通高田支所
2016.12	スポーツバイクデモ in 埼玉※	Y's Road スポーツバイクデモ実行委員会	グッド・チャリズム宣言プロジェクト
2016.12	東京ワンダーレース	東京ワンダーレース事務局	京王電鉄バス・京王バス東
2017.3	江ノ電バスファミリーフェスタ☆	江ノ島電鉄	江ノ電バス横浜
2017.6	横浜開港祭サイクリクニック	横浜開港祭サイクリクニック実行委員会	横浜市交通局
2017.9	ツール・ド・三陸 2017	ツール・ド・三陸 2017 実行委員会	グッド・チャリズム宣言プロジェクト、JR 東日本盛岡支社、岩手県交通高田支所
2017.12	スポーツバイクデモ in 埼玉※	Y's Road スポーツバイクデモ実行委員会	グッド・チャリズム宣言プロジェクト
2017.12	東京ワンダーレース	東京ワンダーレース事務局	京王電鉄バス・京王バス東
2018.1	スポーツバイクデモ in 大阪※	Y's Road スポーツバイクデモ実行委員会	グッド・チャリズム宣言プロジェクト
2018.3	江ノ電バスファミリーフェスタ☆	江ノ島電鉄	江ノ電バス藤沢、藤沢市防犯交通安全課
2018.8	たきざわバスマつり☆	滝沢市都市政策課	岩手県交通、岩手県北自動車、岩手県立大学

☆=バス乗り方教室も実施 ★=バスとダンブで実施 ※=トラックで実施

5 今後の展望

- ・全国の自転車を活用したまちづくり・自転車事故削減・公共交通活性化に取り組む地域で展開
- ・「バス運転士の自転車体験プログラム」を準備中



バスと自転車の
共存プロジェクト

お問い合わせ 株式会社玄 03-6318-2831 r-takashima@gen-network.com (高島)